



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりよくする



加古川市立西神吉小学校

学校通信

No.67

～ 次なるステップへ ～

今春、私は「日本一元気なあいさつが響く学校にしよう」という目標を掲げました。それから数ヶ月。1学期の子どもたちの姿を見ていて、胸が熱くなる瞬間がたくさんありました。最初は少し恥ずかしそうにしていた子も、今では自分から「おはようございます！」と元気な声を響かせてくれます。地域の方や来校されたお客様に対しても、立ち止まってペコリと頭を下げたあいさつができる子が格段に増えました。子どもたちの「あいさつの力」は、今、確実にレベルアップしています。

さて、あいさつには、次のような効果があるとされています。

1. 人間関係の「心の扉」を開く

あいさつは、「私はあなたの味方ですよ」「あなたの存在を認めていますよ」というポジティブなサインになります。見えない心の壁を取り除き、その後の会話や関係性をスムーズにする「潤滑油」の役割を果たしてくれます。

2. 自分の第一印象と好感度が上がる

笑顔でハキハキとあいさつができる人は、それだけで「誠実そう」「明るくて話しやすそう」という好印象を与えます。特別なスキルがなくても、あいさつひとつで自分の信頼度を飛躍的に高めることができます。

3. コミュニケーションのきっかけになる

「おはようございます」の後に、「今日はいい天気ですね」「体調はいかがですか？」など、自然な雑談へ繋げやすくなります。新しい出会いや、普段あまり話さない人と仲良くなる絶好のチャンスを作ってくれます。

4. 自分の気持ちも前向きになる

声を出すこと、そして相手から「おはよう！」「こんにちは！」と返ってくることで、脳内からポジティブなホルモンが分泌され、自分自身の気分も上がります。朝のあいさつには、一日の生活リズムや仕事のスイッチを入れる効果もあります。

5. その場の「空気」を良くする

学校でもお家でも、お互いに気持ちのいいあいさつが飛び交う場所は、自然と雰囲気明るく、風通しが良くなります。ギスギスした空気を和らげる力があいさつにはあります。



今、確実に子ども達の中に、あいさつすることへの素晴らしい土台ができました。だからこそ、さらに上を目指したいと思います。これからの目標は、学校の中だけでなく、「いつでも・どこでも・だれにでも」進んであいさつができるようになることです。

そこで、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様に、2学期に向けてお願いがあります。

【西神吉っ子のみんなへ】あいさつは、相手の心をパッと明るくする魔法の言葉

1学期の君たちのあいさつは満点です！2学期は、学校の外でもその素敵なあいさつを広げてみませんか？近所の人、通学路で見守ってくれる人に、自分から進んで声を届けてみましょう。君たちの元気な声が、地域のみなさんを必ず笑顔にします。

【保護者の皆様へ】ご家庭は「あいさつのスタートライン」です

子どもは、大人の姿をよく見ています。ぜひ、ご家庭の中で「おはよう」「いってらっしゃい」「ありがとう」の声を、これまで以上に意識して交わしてみてください。家庭で育まれた心地よいあいさつの習慣が、そのまま学校や社会での自信へと繋がります。

【地域の皆様へ】子どもたちの「一歩」を、温かく受け止めてください

子どもたちが地域で「こんにちは！」と声をかけたとき、「元気がいいね！」「いってらっしゃい！」と返していただけることが、子どもたちにとって何よりの喜びであり、自信になります。ぜひ、地域全体で子どもたちを育てる温かいお声がけをお願いいたします。

あいさつは、人と人を繋ぎ、心を元気にする最高のコミュニケーションです。子どもたちの元気な声が響き渡る、活気あふれる学校・地域を、皆様と一緒に創り上げていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ピッカリ！
ピッカリ！

